

寄付



野地 優子様 杉山 嘉章様 杉山 明子様
 屋久島東部茶生産組合 組合長 藤山様
 佐川急便株式会社様 井田塩 おくだ荘 弓削様
 植田 光敏様 平田 弥生様 清野 祐希様
 小野田 孝男様 森野 直美様 山口 佳代様
 山本 幸江様 平田 雅子様 長屋 永子様
 加藤 美佳様 石原 みどり様 佐藤 節子様
 川口 宏志様 大胡 恵様 大橋 敬子様
 瀬戸 安彦様 上原 六一様

渡辺 梢様 西川 弓枝様 馬場 俊一様
 小楠 壽典様 馬場 俊一様 平澤 美千代様
 白井 哲様 二階堂 賀子様 アシベ様



ありがとうございました
 ございました

お寄せいただいた寄付金は施設整備のため使用させていただきます。どうもありがとうございました。

編集後記



厳しい夏の暑さからようやく解放され、寒さを感じる季節となりました。学園のグラウンドでは新築工事が着々と進んでいます。子どもたちが興味深そうにグラウンドを見つめている姿がとても印象的です。工事関係者の皆様、暑い日も寒い日も本当にありがとうございます。職員一同、感謝しております。

本格的な冬が近づいてきます。インフルエンザ・コロナウイルス対策をより一層強化し、子どもたちが健康に過ごせるように努めてまいります。



(保育士 綿貫 ころろ)

連絡事項

身長	cm
体重	kg

お知らせ



帰省期間

11月20日～11月23日
 12月11日～12月13日
 12月25日～1月4日



帰省については児童相談所の許可のもと、各御家庭へ連絡しておりますので、宜しくお願い致します。尚、予定されている帰省期間は、新型コロナウイルスの状況に応じて変更する可能性があります。ご承知ください。

交流



ありがとうございました
 ございました

読み聞かせボランティア

きらめき様

ものづくり体験ボランティア

菱田夫妻様

学習支援

紀藤 信哉様 高橋 良重様

ピアノボランティア

安永 多嘉子様



令和2年度 学園だより 秋号 第557号

編集・発行
 静岡県川奈臨海学園
 〒414-0044 伊東市川奈 510-7
 TEL 0557-45-0509 FAX 0557-45-5169
 E-mail rinkai-g@ninus.ocn.ne.jp
 URL http://kawana7.ec.net.jp

新築工事地鎮祭

全面改築の第一歩！

8月20日に(仮称)川奈臨海学園新築等工事地鎮祭が行われ、関係者22名が参加しました。

平成28年の児童福祉法改正を受け平成30年に新しい社会的養育ビジョンが出され、施設の小規模化、高機能化、多機能化等に向けた取り組みを内容とした県等の社会的養育推進計画が策定されました。

現在の建物は、昭和47年に改築され築48年。建物の老朽化と児童養護施設に求められている家庭的な養育環境を整備する必要性から、全面改築の計画を立て、令和3年度に新しい施設へと移行できるように進めてきました。

新施設は、グラウンドとして使用していた場所に建設。本体施設の定員36人(1ユニット6人で6ユニット)一階には地域交流スペースや家族療法室に加え、8月か

ら伊東市の委託で事業を開始した子育て短期支援事業専用の居室を配置します。

地鎮祭では、地元川奈の三島神社の神主が工事の安全を願って祝詞を奏上した後、静岡県済生会影山武司支部長による鍬入れの儀式や、参列者による玉串の献上を行いました。

子どもたちは地鎮祭には参加しませんでした。完成予想図を見て夢を膨らませグラウンドを見つめていました。(児童指導員 鈴木一大)



わかなでの生活

良い夏の思い出が出来ました。

(児童指導員 上村紗矢)

8月の終わりから2学期が始まり、子どもたちが元気よく学校に行き始めました。

今年の夏休みは新型コロナウイルスの影響もあり、なかなか外出する機会がなかったので何かイベントを行いたいと思い、地域小規模施設わかなの庭でバーベキューを行いました。バーベキューだけでなく、流しそうめん、スイカ割りもやりました。食事は、お肉やそうめん、スイカなどご飯はたくさんありましたが、子どもたちの一番のお気に入りには“フライドポテト”でした。屋内で涼みながら揚げたてのポテトを頬張っていました。夜には手持ち花火をするなど夏の風物詩を存分に楽しむことが出来ました。



7千夏まつり



8月1日、夏休み開始と共に、学園では夏のイベントを行いました。初めはボール遊びと旗取りを混ぜたスポーツレクを楽しみ、おやつにはかき氷やポップコーン、夕食では鉄板で作った焼きそばやポテトを食べて屋台の雰囲気を楽しみました。夜には全員で手持ち花火を楽しみ、この日は1日を通して『夏』を感じました。

建替えの関係から、昨年度まで続いていた夏祭りは終了してしまいましたが、別の形で夏のイベントを楽しみ、少ない夏休みを楽しくスタートすることができました。

(保育士 山本 佳代子)



水あそびプール 海

毎日のように海水浴に行っていた例年の夏とは違い、今年は新型コロナウイルスの影響で夏休み前半は人混みの多い海には出掛けられず、暑い日々を乗り切るために学園内で出来る水遊びを…という事で、8月10日に大きめのビニールプールを膨らませて遊びました。最初に入った幼児さんは、バケツや水鉄砲で思い思いに楽しく遊ぶ姿がありました。小学生は潜水時間を競い合ったり、バタ足の練習をしたりといつもとは違う水遊びを楽しんでいました。いつもとは違う夏となってしまいましたが、どんな状況であっても夏を楽しむ気満々の子どもたちの姿がありました。

(児童指導員 山梨 綾)



(2)

イベントの開催中止や外出の取りやめが続く中、三密の回避と年齢別の入れ替え制を導入しているか浜で海遊びを行いました。幼児さんの中には初めて海に入るといってもおっかなびっくり足を入れたり、怖くて職員に抱き着いたままの子がいたり、波打ち際で波に身をまかせコロコロと転がる子もいたりみんなの個性が出ていました。また高学年のお兄さんはブイまで競争をしたり、お姉さんは綺麗な貝を探したりと年齢によっても海の楽しみ方の違いが出ています。そして帰る時にはみんなから「もうちょっと〜！」の声が。みんなのためにも来年はもっとたくさん泳ぎに行くことができるよう祈るばかりです。

(児童指導員 太田 和子)



秋の味覚おいしいね



10月17日、秋のイベントを行いました。炭火で焼いたさつまいもや焼きマッシュマロを食べたり、川奈分校の体育館を借用し、バドミントンやドッジボールなど、それぞれ好きな遊びをしたりして楽しみました。秋の味覚を頬張ったり元気いっぱい身体を動かしたりする子どもたちの姿はとても微笑ましかったです。

(保育士 綿貫 ころろ)



川奈臨海学園開園記念日

10月1日は学園の開園記念日です。いつもであればこの近辺で式を兼ねて外へ出て会食会を行うのですが、ここでもコロナ禍が頭をもたげました。今年度の開園記念は感染拡大防止のため、規模を縮小し、園内でお弁当とケーキでお祝いをしました。お弁当は大人でもお腹いっぱいになるほどの量があり、子どもたちからは「お腹いっぱい。もう食べられない」との声が聞かれました。しかし、ケーキとなれば別腹です。市内のお菓子屋さんにて作っていただいたケーキはいちごやマスカット、お芋やブルーベリーなど色とりどりで、子どもたちは自分でケーキを選び、おいしそうに食べていました。

春に完成予定の新園舎が建てば、現園舎とはお別れとなります。子どもたちの新園舎への期待は高まる一方ですが、残された現園舎での時間も大切に過ごしてほしいと思います。

(児童指導員 石井 結希)

秋のお花でアレンジメント

9月19日、学園内だけの特別なお花屋さんイベントが開催されました。生花の匂いや肌触りを体験してもらい、花のある生活を過ごしてもらおうと職員が企画したものです。当日仕入れた26種類のお花が合計100本以上並びました。秋の七草の一つに数えられるフジバカマ、秋の代表的な山野草のリンドウなど秋の花に加えて、トルコキキョウやガーベラ、色とりどり種類豊富なバラ各種も用意されました。普段見かけない特ダネとして、ケイトウやカラー、セダム、エリンジューム、アンズリウムもあり、花の豊かさを体験してもらったイベントになりました。

花がホールに並んだときは子どもたちから大きな歓声があがりました。一人ひとり好きな花を選び、シールやペーパーを使って作ったオリジナルのペットボトル花びんに花を生け、それぞれ部屋の好きなところに飾っていました。「幸せな気持ちをありがとう」と言ってくれた子もいました。みんな花を大切にしてくれて、2週間以上花を満喫していました。

(児童指導員 栗原 樹生)



重機見学

9月19日、川奈臨海学園新築等工事を請け負って頂いている木内建設株式会社の現場監督が希望した子どもたちをパワーショベルの運転席に招待してくれました。

パワーショベルは子どもたちに大人気な重機で、移動中の車や絵本の中で、いつもとても嬉しそうに見ていました。ですので私も工事が始まってから、ずっと、子どもにパワーショベルを近くで見せてあげたいと思っていました。

パワーショベルは株式会社成美の皆様が幼児さんから、順番に運転席に座らせてくれました。子どもたちは、重機の運転席に乗せてもらい興奮気味でした。ウルトラマンが大好きなUくんは大きな重機を近くで見て、その大きさに驚いたようで、借りたヘルメットを両手で押さえながら見上げていました。この様な減多に得ることができない機会を頂き木内建設株式会社の現場監督、株式会社成美の皆様からのサプライズに感謝いたします。

(職業指導員 岩田 弘和)



(3)

